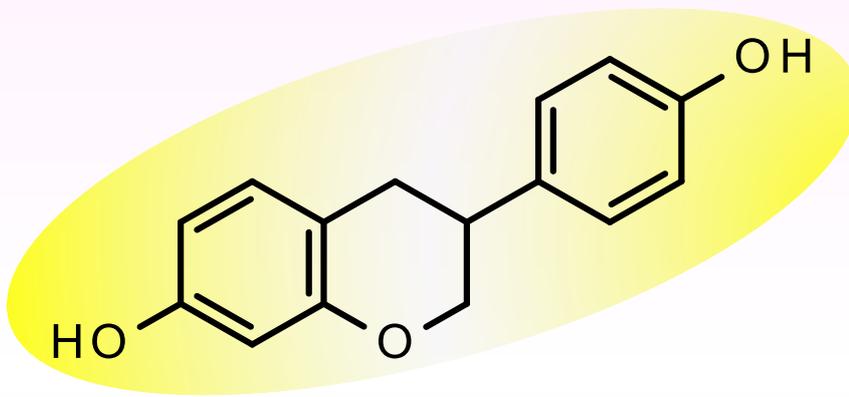


イソフラボンや微量のエストロゲンを LC-MS/MSで測定できます！

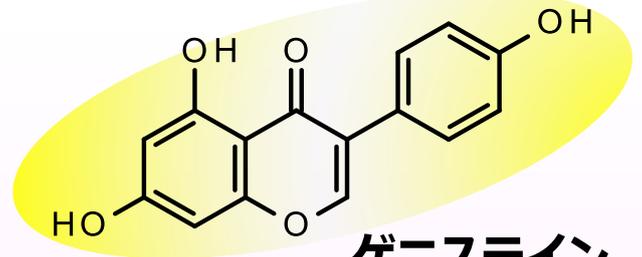
食品から摂取できる注目のイソフラボン！

様々なホルモン依存性疾患への予防効果が期待されています

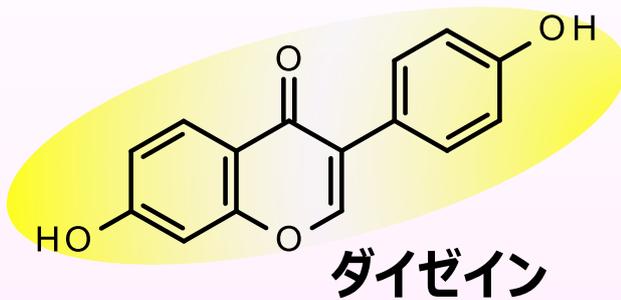
- 疾患例
- ・ 更年期障害
 - ・ 骨粗鬆症
 - ・ 乳がん
 - ・ 前立腺がん



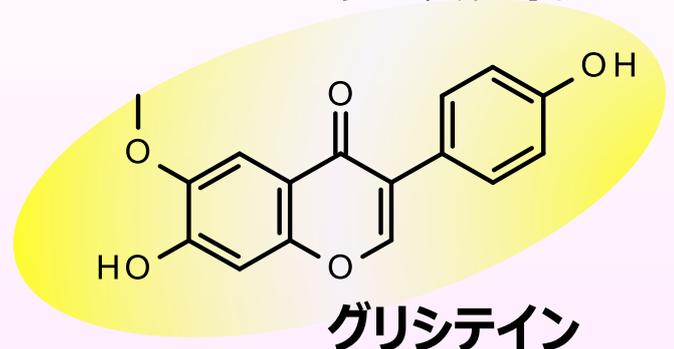
イクオール



ゲニステイン



ダイゼイン



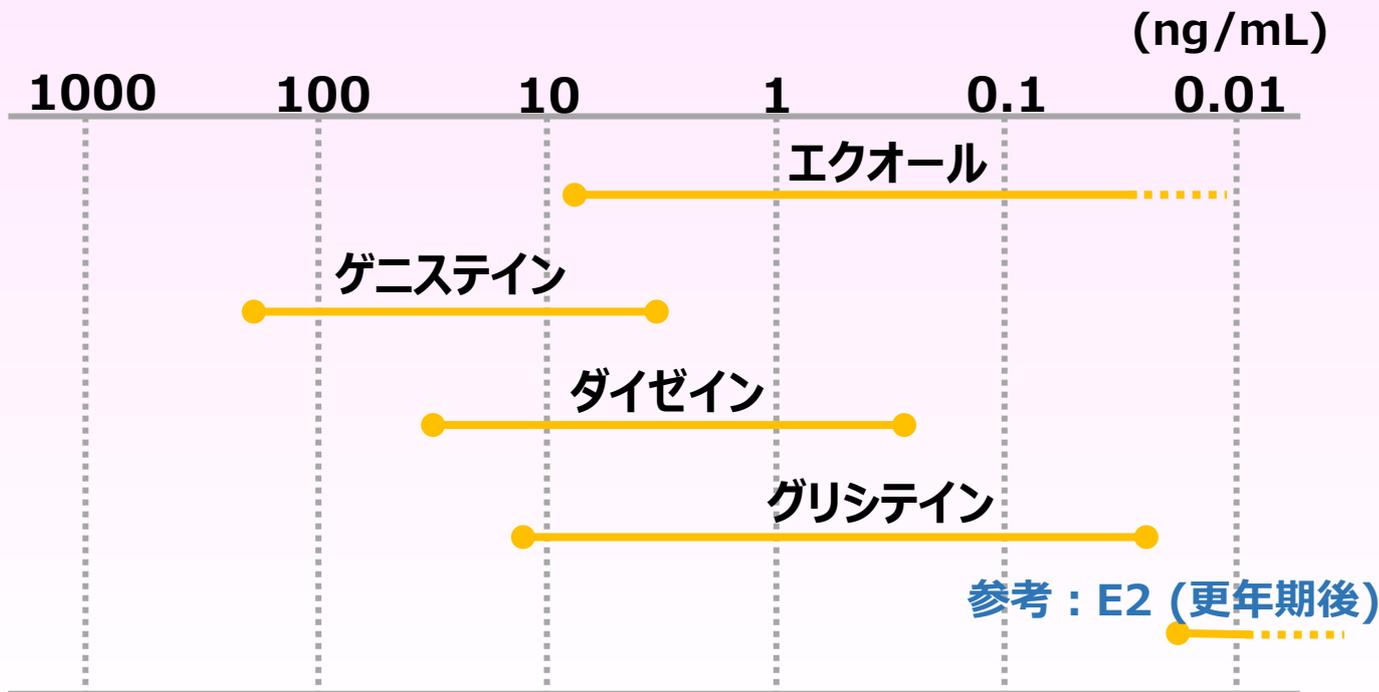
グリシテイン

イソフラボンのエストロゲン様作用はE2の1/1000程度
イソフラボン関連の研究では、E2濃度も把握しましょう！

血中のイソフラボンとエストロゲン濃度

ヒト血清中のイソフラボン濃度

(自社測定データ 12人分)



- 血中のイソフラボン濃度は個人差がとても大きい・・・
- 更年期後女性では、E2濃度 (~15 pg/mL) はとても微量で正確に測定するのが困難・・・



当社では**微量なE2濃度測定にも自信があります！**

イソフラボンを含むトータルのエストロゲン研究には、

是非当社の検査技術をご利用ください！

お問い合わせ

受付時間：月～金曜日 9:00～17:35
土日・祝祭日・年末年始等を除く

電話：0466-32-7218

メール：kensa-med@ap-med.co.jp

ホームページ：https://www.ap-med.co.jp